

2008津別ウッドクラフト展

あつたらいいなあ、こんなもの

使って楽しい、飾って楽しい

木の用品

愛林のまち・津別町の木工コンテスト「2008ウッドクラフト展」11回目となる今回のテーマは「子ども部屋を彩る木の用品」です。今回は全国各地からテーマに沿った39点の作品が寄せられました。審査の結果、入賞した10点の作品をご紹介します。

大人の部 最優秀賞 「さんぼ」



村上 章さん（宮城県大崎市）
上下左右どの角度からでもカルガモの動きが楽しめるのはもちろん、先端の蝶々が回るなど細かいところも手が込んでいて見事です。オルゴールの音色に合わせ、ぜんまい仕掛けで散歩するカルガモはずっと見ていたい。デザイン、技術ともパーフェクトな素晴らしい作品です。



大人の部 優秀賞
「時を飾る椅子」
小野 暁さん（旭川市）

実用的な作品。背もたれ部、座部とも曲線で、座りやすく疲れにくい作りになっていて機能性に富んでいます。また、デザインをはじめ、色のコントラストもきれいです。



子どもの部 優秀賞
「鳥と犬とわたし」
長良 樹里香さん（津別町）

木のやさしさ、温かさが感じられる作品です。何と言っても、足元になつく犬の甘えた感じがかわいい。造形力もあり、カレンダーなどの写真に使えそうです。

子どもの部 最優秀賞 「ランプ」



白鳥 哉一さん（北海道津別町）
身近な木の枝を組み合わせ、上手に作り上げています。和紙の色のバランスも上手く、中のランプの灯りに映し出される和紙の繊維も美しい雰囲気をかもしだしています。



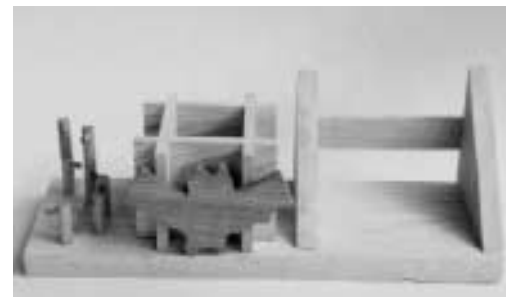
子どもの部 審査員特別賞
「ガンダム空中分解」
山田 崇生さん（津別町）
作成に相当な時間を要したと思います。根気強さに感服し努力賞です。



子どもの部 優秀賞
「どんぐり公園」

前田 愛佳さん（津別町）
楽しそうで、子どもの作品という感じがします。見ているとウキウキしてきます。子どもたちの歓声が聞こえてきそうです。

子どもの部 優秀賞
「本立て付き鉛筆立て」
オ川 和希さん（津別町）



単純な構造ですが、機能的に作られています。実用的で、子ども部屋にピッタリです。地元材のセンとニレの木を利用しているのも見逃せません。

大人の部 優秀賞
「小さな水族館」
（ペン立てと小物入れ）
饗庭 弘治さん（奈良県平群町）



小物入れは、磁石を利用して上部の魚が引き出しの動きに合わせて動き、凝った作品となっています。ペン立ては、アクセントの魚たちがバナでかわいい動きをみせ、2つとももしろい工夫が施されています。

子どもの部 審査員特別賞
「しんねのおきもの」
中橋 美里さん（津別町）



細かい作業よく頑張ったと思います。木の実などを上手に工夫してコンパクトによくまとまっています。

大人の部 審査員特別賞
「五角アニマル観覧車」
代永 研さん（小樽市）



非常に凝った作品です。商品としてもいいと思います。動物たちも楽しそうです。

～環境にやさしく 資源を有効活用～ ペレットストーブを 設置しました！

温暖化防止対策や資源の有効活用などで注目されてきているペレットストーブが役場庁舎のロビーとあいおい物産館に設置されました。

町では「バイオマスタウン構想」に基づき、町有林などからでる未利用残材の循環活用に取り組み、来年度にペレットを生産する工場の建設を予定しています。完成するとペレット燃料の安定的な供給が期待できます。

燃料となるペレットは、間伐材などを粉状にして水分を取り除き、圧縮して粒状に固めたもので、手を汚すことなく取り扱いはとても簡単です。また、燃料を燃やした際に出る二酸化炭素を削減し、環境にやさしい自然エネルギーとして期待されています。



冬の間使用していますので、是非実物をご覧ください。